

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いやりや意向の把握に努めているが、更に汲み取る為に、声掛けの仕方や認知症状を理解する事が必要。	・全職員が、入居者の思いや意向を汲み取り、定期的に情報共有し、支援に活かす。	・全職員が、毎月入居者毎の思い等を把握、ケース記録に残し情報共有する。 ・奇数月のケース会議にて、情報共有とともに、検討が必要な課題に対しては、話し合い、取り組み内容を決定していく。 ・認知症の理解を深める為、年2回(6、11月)講義形式動画を活用し、内部研修を行う。研修後、効果確認により理解度をはかる。	12ヶ月
2	33	看取りに関しては、事業所内での経験もなく、知識も不十分な為、その時に備える体制作りが必要。	・重度化や終末期に全職員が対応出来るよう、体制作りをする。	・「重度化した場合における対応に係る指針」と「看取りに関する指針」を年2回(5・10月月)ケース会議にて読み合わせ、内容の確認を行う。 ・看取り介護に関する知識を深める為、年2回(5・11月)講義形式動画を活用し、内部研修を行う。研修後、効果確認により理解度をはかる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月